

第4回京都市洛西地域公共交通会議 摘録

日 時：令和6年5月7日（火）午後1時～午後3時
場 所：西京区役所洛西支所 2階大会議室
出席者：別紙出席者名簿のとおり

1 開会

○ 事務局（会議の諸注意及び配布資料の確認）

○ 委員紹介

― 事務局から京都市洛西地域公共交通会議委員の紹介 ―

2 議題

(1) 「京都市地域公共交通計画」の策定

○ 事務局

（資料1に基づき、説明）

(2) 洛西“SAIKO”プロジェクト 実行策とりまとめ

○ 榎田委員（京都市西京区役所洛西支所）及び事務局

（資料2に基づき、説明）

○ 片岡委員（西京区自治連合会、新林学区自治連合会）

民営バス敬老乗車証の適用地域について、大枝西長町の住民から、ヤサカバスの利用ができないとの不満の声を聞いている。適用地域を検討される際に、できるだけ丁寧に住民の声を聞いていただければ、このような不満の声は出なかったと思う。

○ 事務局

現在、お住まいの町別で利用できるバスが決まっており、大枝西長町については、京阪京都交通が利用できるバスとなっていると思われる。御発言の内容については、所管している保健福祉局にも共有させていただく。

○ 平山委員（ヤサカバス）

敬老乗車証について、関連して当社の状況をお伝えする。令和5年10月から民営バス敬老乗車証の適用範囲が拡大され、洛西地域を運行する当社のバスも利用いただけるようになった。12月の1週間及び直近でも2、3日の利用者数をカウントしたところ、平日1日当たり平均700名の方に利用いただいている。開始に当たり、10月からの半年間の輸送に関しては、実績もないことから、市バスと競合する洛西地域について、市バスと民営バスの路線距離及

び運行回数から算出する分担率をもとに交付金が算定されているが、実態はそれ以上に多くの方に御利用いただいていると認識しており、実績（利用者数）と整合が取れていない状況である。適正かつ合理的な輸送事業の実施という観点からも疑問に感じているが、令和6年4月からについても、当初の協定内容から変わらず交付金が算定されているところであり、令和7年度以降については、改めて交付金の算定について、実績に見合ったものとするようゼロベースでの検討を保健福祉局に求めているところ。今後に向けては、企業としての意見を主張しつつも、互いに折り合える点を継続して協議しながら、利用者にとって不便とならないようにしたいと考えている。

(3) 洛西地域における取組

○ 事務局

（資料3－1及び資料3－2に基づき、説明）

○ 児玉委員（京都市交通局）

（資料3－3に基づき、説明）

○ 宇野会長（京都大学）

洛西地域においては、今後、路線の再編などによりバスのネットワークも変わってくると思われる。令和6年度に実施予定の旅客流動調査については、現状と取組後の変化が追えるような調査方法やデータ収集を行い、実施した取組がどのように実際の利用に影響したのか効果検証できるようにしていただきたい。

(4) 令和6年6月のダイヤ改正

○ 児玉委員（京都市交通局）

（資料4－1に基づき、説明）

○ 栗山委員（京阪京都交通）

（資料4－2に基づき、説明）

○ 栗山委員（京阪京都交通）

補足で説明申し上げる。

6月のダイヤ改正については、ダイヤ自体に大きな変更はないが、今、説明があったように、京都市交通局のダイヤの見直し（減便）を受けて、協議を重ねた結果、京都市交通局のIC定期券並びに福祉乗車証の御利用者に対し、今般、並行して運行している当社バスにも御利用いただけるようにした。これによって、御利用者はこれまで以上に乗車できる運行本数が増え、京都市交通局も収支改善ができ、また弊社もこれまで御利用いただけなかった方々に御利用

いただけるようになるなど、それぞれにメリットのある取組を実施する。

昨今、ドライバー不足の問題が深刻化しており、運転士は貴重な経営資源となっているので、それぞれの会社がどんどん本数を出せる状況にはないため、今回のように同じ地域を走る事業者が連携を図ることで、いわばチームプレーで、サービスを維持・確保していくことが重要である。引き続き、今後もこのような取組を進めていければと考えている。

○ **平山委員（ヤサカバス）**

（資料４－３に基づき、説明）

○ **藤本委員（福西自治連合会）**

敬老乗車証を使用して洛西ニュータウンから桂坂エリア方面に向かうヤサカバスに乗車した場合、国道沓掛口までは無料で乗車できるが、その先は有料と聞いている。なぜ無料にならないのか。シームレスに乗車できないと思う。

○ **平山委員（ヤサカバス）**

敬老乗車証で御利用いただける区間は、交通事業者ではなく京都市保健福祉局にて決定しており、洛西地域では、基本的にお住まいの地域から最寄りの鉄道駅までを対象区間としている。そのため、洛西ニュータウンにお住まいの方が桂坂中央まで御利用された場合は、当社の普通運賃を御負担いただいている。

○ **宇野会長（京都大学）**

敬老乗車証の取扱いについては、洛西バスターミナルの機能強化、地域の賑わい創出のためにも重要なポイントとなる。事務局においては、いただいた御意見を今後の検討に活かしていただきたい。

○ **児玉委員（京都市交通局）**

洛西バスターミナルについては、現在、バス事業者ごとにのりばが分かれているが、より便利に御利用いただけるよう、6月のダイヤ改正のタイミングで、バス事業者の垣根を越えて行先・方面別に整理しようと考えており、現在、最終調整を行っているところである。

○ **宇野会長（京都大学）**

このような取組は、本会議を開催し、洛西地域の公共交通について協議してきたことの成果だと思う。

バスの強みは、平面で乗降して商業施設などの目的地に到着できること。洛西バスターミナルにバスが乗り入れ、周辺の商業施設にアクセスできることは有意義であると思う。

○ **槇田委員（京都市西京区役所洛西支所）**

運賃制度のシームレス化について御教示いただきたい。

6月から、市バスの定期券で京阪京都交通の一部便について乗車可能になるとのことだが、逆に、京阪京都交通の定期券で市バスに乗車できるわけでないかと理解している。

今後、例えば、他のバス事業者の定期券で市バスにも乗車できることを目指していくのか。それとも、市バスの定期券を軸にして、その他のバス事業者にも乗車できることを目指すのか。

○ **児玉委員（京都市交通局）**

定期券の仕組みはバス事業者によって若干異なる部分があり、どう合わせていくかが課題となる。まずは、市バスの定期券で他のバス事業者にも乗車できるように利用機会を拡大できればと考えている。

(5) 令和6年6月の運賃改定

○ **栗山委員（京阪京都交通）**

（資料5に基づき、説明）

○ **事務局**

補足で説明申し上げる。バスの運賃については、後発事業者については、先行事業者の運賃に合わせる事が原則とされている。桂・洛西地域については、京阪京都交通が先行事業者となることから、同地域を運行する市バス・ヤサカバス・阪急バスにおかれても、運賃を合わせるとお聞きしている。

○ **片岡委員（西京区自治連合会、新林学区自治連合会）**

先行事業者に追随して市バス等の運賃が上がることは、住民にとっても負担が大きい。もっと早いタイミングで、丁寧な説明をしていただきたいと思います。

○ **矢内委員（京都市歩くまち京都推進室）**

利用者には大変御負担をお掛けすることになるが、バス事業者の厳しい経営状況の中、今回の運賃改定はやむを得ないと考えている。特に、運転士不足が深刻化しており、処遇の改善が必至であることが、大きな要因の一つであると理解している。

運賃改定した場合、他事業者が同調することを求められるのは、仮に、同調せずに事業者間で運賃差が生じると、値上げをした事業者は利用者数が減少し、経営が困難となる可能性がある。バス事業者4社局で洛西地域の交通ネットワークを維持・確保していくためには、運賃差が生じないよう統一化していく必要があり、御理解いただければと思う。

○ 児玉委員（京都市交通局）

バス事業を取り巻く担い手不足の問題は、本市だけでなく全国的な問題となっている。路線バスの運行は、安全運行はもとよりお客様対応もあり、早朝深夜勤務があったり、日によって出勤時間が異なるなど負担も大きい。

交通局も大型２種免許を保有していない方、これから取得しようとする方にも門戸を広げて採用活動しており、なんとか現行の体制を確保している状況である。

○ 栗山委員（京阪京都交通）

近況を申し上げますと、運転士数は、必要定員に対して２割近く欠員している。最近では、待遇競争となっており、運転士が待遇の良い会社に流出してしまう。昨年度は、採用者が１１名であった一方で退職者は２４名。このような状況であることから、運賃改定等により、運転士の地位向上、処遇改善が必要であると考えている。弊社バス運転手の初任給は、今春闘で少し改善したが、これまでは１９万円にも満たない状況。１９万円でも時給当りにすると約１，１００円。最近では、学生のアパートでも同水準である。一方で、バス事業は労働集約型産業で人件費率が高いため、賃金を改善すると人件費の負担が大きく経営は厳しくなる。京都市地域公共交通計画の概要版の記載にもあるが、様々な経費を賄っていくためには、運賃収入を上げていかないと経営が成り立たないため、利用者の皆様には御負担をお掛けし、非常に心苦しいが、運賃値上げについて、御理解いただきたい。

○ 宇野会長（京都大学）

最近の学生の就職状況を見てみると、引手あまたの状態である。もはや、バスの運転手の問題にとどまらず、他の分野との競合により人材確保していく必要がある。

もちろん、公共交通の運賃は安価であることが望ましいが、このような厳しい状況の中で人材を確保し、突然バス路線がなくなるというようなことがないよう対策していく必要がある。

○ 貴嶋様（近畿運輸局京都運輸支局）

一昨年度あたりから運賃改定する事業者が増えており、近畿運輸局管内でも、多数の事業者が運賃改定を実施している。

運賃改定の理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少、燃料費の高騰などがあるが、やはり運転手不足が大きな要因となっている。新聞やテレビなどでも報道されているが、人手不足により、各地でバス路線を減便・廃止せざるを得ない状況が生じている。

今回の運賃改定により、処遇改善による担い手の確保、設備投資等につなげていただければと思う。

○ 井上委員（龍谷大学）

現在はバスの運転士不足の話ばかりであるが、数年後、鉄道の担い手についても同様の状況に陥る可能性が高い。これに限らず、人口減少により他の業界でも同様のことが起き得る。

今までのように多くを望んでいては、社会は成立せず、ある程度の我慢をしないといけないと、生活が成り立たなくなるのでは。安価な運賃を望む方が多いが、それでは運賃収入が確保できず、担い手の処遇は改善しない。一方で、若者・子育て世代の流出が止まらず、税収が減る一方の京都市において、これを税収で賄うこともできない。このような状況を全世代に伝えていかなければならない。

敬老乗車証についても、制度創設時は、高齢者が人口の1割程度であったから成立していたが、現在は3割程度までに増加している。制度は見直しが必要であり、社会が変わったということを受け入れていく必要がある。

今後、多少不便になることがあっても、事業者連携により最大限生活に支障が出ないように取り組んでいくことが大切。何よりも、6月のダイヤ改正以降、洛西地域においてバスに乗ってみようという機運の高まりが生まれることを期待している。

3 その他

○ 事務局

（資料6に基づき、説明）

○ 栗山委員（京阪京都交通）

（映画「つぎとまります」のパンフレットを配布）

補足して御紹介させていただく。

ある映画の製作会社から、京阪京都交通を舞台にした映画を作りたいという依頼があり、映画を通じてバスドライバーのネガティブなイメージを払拭し、バス業界に少しでも貢献したいという有難いお話であったので、会社としても全面的に協力させていただくことにした。会社名、営業所施設、バス車両等もそのまま撮影に提供させていただいている。

映画の内容は、新人の女性ドライバーが、入社してから教習期間を経て一人前になっていくまでの過程を面白おかしく描いたものになっている。

この映画を通じて、バス運転士に興味を持ってもらい、少しでも成り手の増加につながればと思っている。

7月31日に京都府立文化芸術会館にて完成披露試写会が開催されるので、是非、足を運んでいただき、映画を御覧いただきたい。宣伝になるが、よろしくお願い申し上げます。

○ **三木委員（京都府警西京警察署）**

（洛西地域の交通事故発生状況について説明）

○ **榎田委員（京都市西京区役所洛西支所）**

らくさいさくら祭のブース出展について、補足させていただく。

30日（土）、31日（日）は大変な賑わいで、両日で約8,500名に來場いただいた。バス事業者の皆様の御協力の下、バス車両を展示いただいたことも要因の一つである。御礼申し上げるとともに、引き続きの御協力をお願いしたい。

また、資料6にてアンケート結果について事務局から説明があったが、設問により、一つだけ選択する項目と複数選択可能な項目がある。複数選択可能な項目については、選択された項目数を分母として円グラフ化されている。この点、誤解のないよう御留意いただき、結果を活用していただければと思う。

○ **矢内委員（京都市歩くまち京都推進室）**

本日、様々な観点から御意見いただき、感謝申し上げます。

我々からは、京都市地域公共交通計画の策定、洛西“SAIKO”プロジェクト実行策のとりまとめについて御報告申し上げた。地域公共交通の維持・確保には、担い手確保が不可欠であり、本市としても、力を入れて取り組んでいく必要があると考えている。令和5年度には補正予算を計上し、担い手のイメージアップに取り組んだところである。引き続き、交通事業者、国等の関係機関と連携しながら取り組んでまいりたい。

洛西地域においては、「交通のバージョンアップ」を掲げているところであるが、運賃制度のシームレス化に向けては、ICカードシステムの導入が前提となると考えている。これに始まり、市バスのIC定期券の共通化を実現し、バスの色を気にせず乗っていただける仕組みを構築したうえで、バス路線の再編に取り組んでまいりたい。

本日は、敬老乗車証制度についても様々な御意見をいただいた。これまで洛西地域内では市バスしか利用できなかったが、令和5年10月に最寄りの鉄道駅までだが、地域全域で民間バスが利用可能となった。これも大きな前進であると思う。本日いただいた利用者の皆様や事業者の御意見はしっかりと保健福祉局に伝える。そのほか、モビリティ・マネジメントの推進や、洛西バスターミナルの案内板等の更新による分かりやすさの向上にも取り組んでまいりたい。

交通事業者は厳しい経営状況に置かれているが、引き続き、バス路線の維持・確保、利便性の向上に努めてまいりたいと考えている。

○ **乾委員（京都市西京区役所）**

本日、交通事業者から、厳しい状況や現状の取組についてお聞きしたところであるが、地域の皆様からのお声にもあるように、今後も、洛西地域にお住まいの方、西京区にお住まいの方が、公共交通を継続的に利用できるよう、また利便性を感じられるよう取組を進めていただきたい。

○ **井上委員（龍谷大学）**

6月のダイヤ改正を契機に、今まで利用したことがないバス事業者を利用してみて、その良さをこのような場で共有できればと思う。

○ **宇野会長（京都大学）**

6月のダイヤ改正は、これまでの当会議での、洛西地域の活性化、洛西地域内での移動の利便性向上をとの御意見を踏まえたものと認識している。皆様にはぜひ御利用いただき、良い点、悪い点を御指摘いただければと考える。

また、担い手不足の深刻化の対策には、地域公共交通会議等での議論や新たな技術の活用などが必要となる。引き続き、皆様からの御意見をいただきながら、洛西地域の公共交通について考えてまいりたい。

4 閉会

○ **事務局**

次回の会議については、改めてお知らせする。

第4回京都市洛西地域公共交通会議 出席者名簿

(敬称略)

区 分	所属・職名	氏 名	備考
学識経験者	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 教授	宇野 伸宏	会長
	龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻 教授	井上 学	
地方運輸局長が 指名する者	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	中野 幸太	代理出席 貴嶋 聡
交通事業者	京阪京都交通株式会社取締役管理部長	栗山 準一	
	阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部 部長 (地域公共交通担当) 兼 新モビリティ推進部 部長	野津 俊明	
	株式会社ヤサカバス上鳥羽営業センター 所長	平山 敬浩	
	京都市交通局自動車部担当部長	児玉 宜治	
	西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部京滋支社 地域共生室 室長代理	吉田 敦亘	
	阪急電鉄株式会社都市交通事業本部沿線まちづくり 推進部 部長	阿瀬 弘治	欠席
交通事業者が 組織する団体	一般社団法人京都府バス協会 専務理事	竹内 哲也	代理出席 森口 平生
	一般社団法人京都府タクシー協会 専務理事	足立 高広	代理出席 三栖 誠
住民	西京区自治連合会 会長	小石 玖三主	欠席
	西京区自治連合会 副会長 新林学区自治連合会 会長	片岡 純治	
	福西自治連合会 会長	藤本 廣志	
	西京区地域女性連合会 境谷会長	能登 富美代	
労働組合	京阪京バス労働組合 執行委員長	俣野 健二	
道路管理者	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所事業対策 官	今城 由貴	欠席
	京都市建設局土木管理部西京土木みどり事務所長	渡邊 剛	欠席
交通管理者	京都府西京警察署交通課長	三木 英昭	
市長が指名 する者	京都市都市計画局歩くまち京都推進室 事業推進担当部長	矢内 克志	
	京都市西京区役所地域力推進室長	乾 隆志	
	京都市西京区役所洛西支所地域力推進室長	槇田 雅也	